

〔上野名跡志 初篇下 妻郡〕鳥居峠 吾妻屋山、四阿山トモ書リ、

大 笹 田 代 ノ 奥、信 州 大 日 向 ヘ 越 ル 嶺 ヲ 鳥 居 峠 ト 云 テ、石 ノ 鳥 居 ア リ、石 ノ 神 ニ 社 ア リ、日 本 武 尊 橋
姫 ヲ 祀 リ テ、吾 妻 権 現 ト 稱 奉 ル、此 所 ヲ 日 本 武 尊 ノ 越 エ 玉 ヒ シ 道 ノ 真 跡 也 ト 云、大 古 ハ 此 ア タ リ
迄 碓 水 也 シ ヲ、吾 嫄 者 耶 ノ 御 言 ヨ リ、吾 妻 郡 ト ナ リ シ ナ ル ベ ケ レ バ、ゲ ニ モ イ ニ シ ヘ ノ 碓 水 ノ 峠
ハ、コ ナ タ ニ テ ア リ ケン、

傳 説 雜 記 ニ、碓 水 峠、鳥 居 峠 ハ 別 フ ノ 峠 ナ レ ド モ、峠 繢 ノ 峠 ナ レ バ、往 昔 鳥 居 ヲ モ、碓 水 ト 云 シ ト
見 エ タ リ ト 云、

〔遊 囊 賸 記 二 十 二〕妙 義 山 ハ、夏 雲 多 奇 峯 ト イ フ ベ キ 山 ナ リ、妙 義 法 師 ヲ 祭 テ ヨ リ、波 古 曾 ノ 神 ハ、余
所 ノ 白 雲 ト ナ ル、山 中 ニ 一 宿 シ テ、明 レ バ 貫 前 ノ 宮 ニ 赴 ク、○ 中

西 上 州 記 妙 義 山 ハ、頂 上 マ デ 黒 キ 巖 ニ テ、嶮 岐 ナ リ、或 説 ニ、黑 髮 山 ト ハ 是 ナ リ ト イ ヘ リ、常 ニ 白
雲 覆 フ 故 ニ、白 雲 山 ト イ フ、妙 義 ト ハ 権 現 鎮 座 已 後 ノ 名 ナ リ、此 御 神 ハ 天 台 座 主 法 性 坊 ト 申 セ
シ ガ、我 慢 ニ 支 ラ レ テ 天 狗 ト ナ リ、此 山 ニ 示 現 マ シ マ シ 、ト ナ リ、

〔諸 國 里 人 談 三〕妙 義

上 野 國 妙 義 山 は、岩 山 に て、岑 々 銳 に 尖 て、嵒 々 と し、錐 を 立 た る ご と く、樹 木 な く、た ゞ、繪 に あ る 唐
の 山 に 似 た り、東 の 方 鷹 橋 總 社 の 邊 よ り、此 山 を 見 れば、峯 ち か き 所 に 真 丸 な る 穴 あ り、月 輪 を 見
る ご と し、あ な た の 雲 所 た ゞ、し く 見 ゆ な り、土 人 の 云 く、百 合 若 大 臣 の 射 抜 た る 箭 の 跡 な り と 云
り、山 の 麓 安 中 松 井 田 よ り 見 れば、此 穴 な シ、是 は 巖 と く の 行 合 に て、ふ り に よ つ て、山 穴 の や う
に 見 ゆ る な り、或 云、人 の う へ に 自 と い ふ 事 は、水 柄 と い ふ 事 に て、か く 峠 た る 嶮 山 の 滴 に て 育 つ
人 は、其 心 極 て 嶮 な り、又 京 奈 良 な ど の、寛 な る 山 の 水 に て、養 れ た る 人 の 心 は、柔 和 な り、江 戸 大 坂
な ど の 嘉 野 大 河 の 流 を 飲 人 心 は、至 て 廣 し と い ふ は、そ の 理 な き に し、も あ ら す、